

名古屋港管理組合公報

令和2年4月20日
(月曜日)
号外第8号

目次

○名古屋港管理組合職員採用試験公告 1

公 告

名古屋港管理組合公告

名古屋港管理組合職員採用試験を次のとおり実施します。
令和2年4月20日

名古屋港管理組合

令和2年度名古屋港管理組合職員第1回採用試験（大学卒程度）及び名古屋港管理組合職員（海事）採用試験

1 試験の種類・試験区分・採用予定人員・受験資格等

試験の種類	試験区分		採用予定人員	受験資格
第1回	事務	行政Ⅰ	2名程度	次のいずれかに該当する方 (1) 平成2年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方 (2) 平成11年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した方又は令和3年3月31日までに卒業見込みの方 ※(2)に該当する方は第2回採用試験（高校卒程度）の受験申込みはできません。
		行政Ⅱ	2名程度	
	技術	土木	2名程度	次のいずれかに該当する方 (1) 昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方 (2) 平成11年4月2日以降に生まれた方で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した方又は令和3年3月31日までに卒業見込みの方 ※(2)に該当する方は第2回採用試験（高校卒程度）の受験申込みはできません。
		建築	1名程度	
機械		1名程度		
	電気	1名程度		
海事	海事Ⅰ種（航海）		1名程度	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方で、3級海技士（航海）以上の免許（船橋当直限定免許を除く。）を取得している方又は令和3年12月31日までに取得見込みの方
	海事Ⅰ種（機関）		1名程度	昭和60年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方で、3級海技士（機関）以上の免許（機関当直限定免許を除く。）を取得している方又は令和3年12月31日までに取得見込みの方

次のいずれかに該当する方は受験できません。

- 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 名古屋港管理組合職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 第1次試験

(1) 試験日程及び試験会場

試験日程	試験会場 (9ページ参照)
令和2年6月28日(日) 午前8時45分開場、午前9時15分着席・出席点呼	名古屋港管理組合本庁舎 名古屋港湾会館

試験会場は、変更になる場合があります。変更後の試験会場は、受験票とともに返信用封筒に同封してご案内します。

(2) 試験科目・時間・内容等

① 事務(行政Ⅰ)、技術及び海事

試験科目(配点)	時間	内容
教養試験(80点)	9:45~11:45	公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験 [択一式・40問]
専門試験(120点)	13:25~15:25	各試験区分に応じた出題分野(※1)の専門的な知識をみる試験
論文試験(100点)	15:50~16:50	与えられた課題に対する記述式試験

② 事務(行政Ⅱ)

試験科目(配点)	時間	内容
教養試験(200点)	9:45~11:45	公務員として必要な一般的な知識及び知能をみる試験 [択一式・40問]
論文試験(100点)	13:25~14:25	与えられた課題に対する記述式試験

- ・ 問題は活字印刷文による出題です。
- ・ 受験上の配慮を必要とされる方は申込手続時にご相談ください。
- ・ なお、いずれかの試験科目において一定の基準に達しない方は、他の試験科目の成績にかかわらず不合格となります。

(※1) 専門試験出題分野

試験区分	解答方法	出題分野
事務 行政Ⅰ	択一式・40問	政治学、行政学、憲法、行政法、民法、経済学、財政学、社会政策、国際関係
技術	土木	数学・物理、応用力学、水理学、土質工学、測量、土木計画(都市計画を含む。)、材料・施工
	建築	数学・物理、構造力学、材料学、環境原論、建築史、建築構造、建築計画(都市計画、建築法規を含む。)、建築設備、建築施工
	機械	数学・物理、材料力学、流体力学、熱力学、電気工学、機械力学・制御、機械設計、機械材料、機械工作
	電気	数学・物理、電磁気学・電気回路、電気計測・制御、電気機器・電力工学、電子工学、情報・通信工学
海事	海事Ⅰ種(航海)	記述式 航海、運用、海事法規
	海事Ⅰ種(機関)	記述式 機関(その1、その2、その3)、執務一般(英語を除く。)

(3) 第1次試験の合格者発表(全試験区分共通) 令和2年7月9日(木) (予定)

本庁舎掲示板(本庁舎北西角)に約1週間、合格者の受験番号を**掲示**するとともに合格者に**通知**します(不合格者には**通知しません**)。また、名古屋港のホームページ(<https://www.port-of-nagoya.jp/>)でも同日午前9時頃から約1週間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず掲示又は通知で確認してください。なお、電話等による可否に関する問い合わせにはお答えしていません。

(4) 試験会場内における携帯電話等の通信機器の操作や、一切の情報の送受信等を禁止します。試験会場に到着する前に、**通信機器の電源を切り、必ずかばんの中に入れてください**。また、**携帯用録画・録音機等による録画・録音等の行為を固く禁じます**。その他不正行為等を含め、以上の内容について違反が確認されたときは、当該受験を無効とする場合があります。

(5) 試験会場内では、飲食物の外部からの持込みはできません。

3 第2次試験(全試験区分共通)

(1) 試験日 **令和2年7月18日(土)**

詳しい日程については、第1次試験合格者発表時に合格者に通知します。

(2) 試験科目・試験会場

試験科目(配点)	試験会場
面接(300点)	第1次試験合格者発表時に合格者に通知します。

(3) 第2次試験の合格者発表 **令和2年7月27日(月) (予定)**

本庁舎掲示板(本庁舎北西角)に約1週間、合格者の受験番号を**掲示**するとともに合格者に**通知**します(不合格者には**通知しません**)。また、名古屋港のホームページ(<https://www.port-of-nagoya.jp/>)でも同日午前9時頃から約1週間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず掲示又は通知で確認してください。なお、電話等による可否に関する問い合わせにはお答えしていません。

4 第3次試験(全試験区分共通)

(1) 試験日 **令和2年8月6日(木)～8月7日(金)**

詳しい日程については、第2次試験合格者発表時に合格者に通知します。

(2) 試験科目・試験会場

試験科目(配点)	試験会場
面接(300点)	第2次試験合格者発表時に合格者に通知します。

(3) 第3次試験の合格者発表 **令和2年8月14日(金) (予定)**

本庁舎掲示板(本庁舎北西角)に約1週間、合格者の受験番号を**掲示**するとともに合格者に**通知**します(不合格者には**通知しません**)。また、名古屋港のホームページ(<https://www.port-of-nagoya.jp/>)でも同日午前9時頃から約1週間、合格者の受験番号を掲載しますが、必ず掲示又は通知で確認してください。なお、電話等による可否に関する問い合わせにはお答えしていません。

5 試験成績の開示

試験の成績については、口頭で開示を請求することができます。開示は、閲覧により行います。

請求できる人	開示内容	請求期間	請求方法
第1次試験不合格者	総合順位 総合得点 科目別得点	各試験の合格者発表の日から 1か月間 ・9:00～12:00 ・13:00～17:15 (土・日・祝日を除く。)	受験者本人が①受験票及び②運転免許証、学生証等の身分証明書(写真のあるもの)を持参の上、総務部職員課人事係(本庁舎7階)において口頭で申し出てください。
第2次試験不合格者	総合順位 総合得点		
第3次試験不合格者	総合順位 総合得点		

(注)・請求できるのは受験者本人のみです。代理による請求はできません。

・第1次試験、第2次試験及び第3次試験で受験しなかった試験科目のある方には、試験成績を開示することはできません。

6 受験手続

(1) 受験申込書の入手方法

配布場所	総務部職員課人事係（本庁舎7階）、名古屋港情報センター（本庁舎6階）
郵送で請求する場合	封筒の表に「 申込書請求 」と朱書きし、その中に、受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した返信用封筒（角形2号（A4判が入る大きさ）に120円分の切手を貼ったもの）を同封し、名古屋港管理組合総務部職員課人事係（〒455-0033名古屋市港区港町1番11号）あてに請求してください。
名古屋港のホームページからプリントアウトする場合	名古屋港管理組合職員採用試験案内 (https://www.port-of-nagoya.jp/meikan/jinji/saiyou/1001348/1001349.html)にアクセスし、ページ内にある「 受験申込書のダウンロード 」から、プリントアウトしてください（パソコン入力も可能）。

(2) 申込方法

提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・受験申込書、受験票及び写真票（本案内にはさみこんである指定の用紙又は名古屋港のホームページからプリントアウトした指定の用紙） ・受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した返信用封筒（23cm×12cm程度の定形封筒）に84円分の切手を貼ったもの
期間	令和2年5月22日（金）までの消印のあるものが有効
送付先	〒455-0033 名古屋市港区港町1番11号 名古屋港管理組合総務部職員課人事係
郵送申込み方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出書類を角形2号封筒（A4判が入る大きさ）に入れ、封筒の表に「受験申込み」と朱書きしてください。 ・封筒の裏に受験者の住所及び氏名を必ず記入してください。 ・「受験申込書、受験票及び写真票」は切り取らず、<u>折り曲げないで</u>封筒に入れてください。 ・必ず簡易書留等記録の残る方法で郵送してください。 ・書類の<u>記入内容等に不備がある場合は受理せず返送します</u>ので、確実に記入の上、期限に余裕をもって申し込んでください。

(注) ・ 「申込書等記入要領」を参照の上、記入もれ、記入誤りのないように確認をしてください。

- ・ 受験申込みは1人につき1つの試験区分に限ります。また、申込書提出後の試験区分の変更は認めません。
- ・ **令和2年度の受験申込みは郵送申込みのみの受付といたします。**

(3) 受験票の交付

令和2年5月29日（金）以降に受験票を郵送しますが、**令和2年6月5日（金）**までに受験票が届かない場合は、名古屋港管理組合総務部職員課人事係へお問い合わせください。

なお、受験票はこちらで切り取って封筒で郵送しますので、**あて先、郵便番号、氏名を記入した封筒（23cm×12cm程度の定形封筒に、84円分の切手を貼ってください。）**を申込書とともに提出してください。

7 申込書等記入要領

※欄以外のすべての欄について、下記の要領でもれなく正確に記入してください。

記入は申込者本人の自筆またはパソコンでの入力も可能とします。自筆の場合は黒インク又は黒ボールペンを、パソコンによる入力の場合は黒のフォントを用いてください。なお、パソコンによる入力の場合でも、②の署名は自筆で行ってください。

かい書で、略字を使用せず丁寧に記入してください。数字は算用数字を使用してください。

書き損じた場合は、二重線で抹消して余白に記入するなど、わかりやすく訂正してください。

記入欄が不足する場合には、その欄と同じ様式の紙に記入して貼り付けてください。

記入事項に虚偽、不正等があった場合には、合格を取り消すことがあります。

(1) 申込書

① 試験の種類

受験する試験の種類を記入してください。

② 試験区分

受験する試験区分名を記入してください。

申込みできる試験区分は1つで、申込書提出後の変更はできません。

③ 氏名・性別

氏名は略字を用いず、丁寧に楷書で記入してください。フリガナも記入してください。

該当する性別を○で囲んでください。

④ 生年月日

生年月日及び**令和3年4月1日現在の年齢**を記入してください。

() 内には、西暦の下2桁を算用数字で記入してください。

⑤ 現住所

電話がある場合には必ず**電話番号**を記入してください(携帯電話等でも可)。

⑥ 現住所以外の連絡先

平日の昼間に急ぎ連絡を取りたい場合に、**現住所以外で確実に連絡が取れるところ(勤務先、携帯電話番号、伝言を依頼できるところ等を含む)を必ず記入してください。**本人以外の場合は、その方の氏名と関係(家族、友人等)も記入してください。

現住所以外の連絡先に合格等の通知を希望する場合は、通知先希望の欄に○を記入してください。

⑦ 学歴

大学院・大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・専修学校の専門課程(おおむね昼間の2年制以上の課程のもの)等の学歴を、最終のものから順に2つ記入してください。

中途退学した学校、各種学校・受験予備校等は、「最終学歴取得後の経歴等」の欄に記入してください。

高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定試験)の合格については、「学校名」の欄に「高卒認定」(又は「大検」と記入し、「在学期間」の欄に取得年を記入してください。

中学校及び小学校については具体的な学校名は記入せず、単に「中学校」、「小学校」と記入してください。「学部・学科・専攻等」の欄以降は、記入の必要はありません。

⑧ 最終学歴取得後の経歴等

最終学歴卒業後のすべての職歴等について、直近のものから順にもれなく記入してください。

アルバイト(在学中のものを除く。)や在宅等もすべて記入し、ない場合は空欄とせず「なし」と記入してください。

中途退学した学校、各種学校・予備校等はこの欄に記入してください。

記入欄が不足する場合には、適宜同じ様式の紙に記入して貼り付けてください。

⑨ 資格・免許

資格・免許について記入してください。なお、「取得(見込み)年月」欄には、取得(見込み)年月を記入してください。

⑩ 趣味・特技

趣味・特技について記入してください。

⑪ 写真

縦4cm×横3cmの同一の写真(6か月以内に撮影したもの)を2枚用意し、**写真の裏にそれぞれ試験区分・氏名を記入の上、申込書及び写真票にはがれないようにしっかりと貼り付けてください。**

撮影年月も忘れずに記入してください。

⑫ 署名

記入事項を確認の上、**申込者の自筆で署名**してください。日付も忘れずに記入してください。

(2) 写真票

試験の種類・試験区分・フリガナ・氏名を記入し、申込書と同じ写真をはがれないようにしっかりと貼り付けてください。

(3) 受験票

試験の種類・試験区分・フリガナ・氏名を記入してください。

受験票は、申し込み時に同封された返信用封筒(受験者のあて先、郵便番号、氏名を明記した84円分の切手を貼ったもの)に入れて郵送します。(これ以外の手法での受験票の返信は行いません。)

提出前のチェックポイント

- 受験申込書・受験票・写真票のすべてに記入もれはありませんか。(特に氏名・試験区分)
- 確実に連絡の取れる連絡先を記入しましたか。
- 裏面に試験区分・氏名を記入した同一の写真を申込書・写真票の2か所に貼りましたか。
- 84円分の切手を貼った封筒(受験者の郵便番号・住所・氏名を記入した23cm×12cm程度の定形封筒)を入れましたか。
- 申込者の自筆による署名をしましたか。

* 申込みできるのは1人につき1つの試験区分に限ります。また、提出後の変更は認めません。

* 記入内容に不備等がある場合は受理できないことがあります。よく確認の上、提出してください。

記入例 (※印は記入不要)

令和2年度名古屋港管理組合職員第1回採用試験(大学卒程度)及び名古屋港管理組合職員(海事)採用試験受験申込書

※ R3.4.1現在の年齢を記入してください。

試験の種類	第1回	試験区分	事務 (行政Ⅱ)	フリガナ 氏名	メイコウ タロウ 名 港 太 郎	性別 男 女	生年月日	S・ <input checked="" type="radio"/> H 9年4月2日生 (1997年)満23歳
-------	-----	------	-------------	------------	---------------------	--------------	------	--

現住所 (〒455-0033) 名古屋市港区港町1番11号
電話 (090) 1234-5678

現住所以外(〒455-0037)の連絡先 名古屋市港区名港二丁目4番12号
電話 (052) 654-7847 通知先希望

学校名(小・中学校は具体名不要)	学部・学科・専攻等	所在地(市区町村)	在学期間	年制、卒業(見込み)
(最終) 港大学	法学部法学科	名古屋市港区	<input checked="" type="radio"/> R28年4月から <input checked="" type="radio"/> H2年3月まで	4年制 <input checked="" type="radio"/> 卒業 卒業見込み (○で囲むこと。)
(その前) 港高校		名古屋市港区	<input checked="" type="radio"/> R25年4月から <input checked="" type="radio"/> H28年3月まで	3年制 卒業

勤務先・学校名等	所在地(市区町村)	所属部署・仕事内容・専攻等	内容(該当を○で囲む)	期間
(直近) ○×株式会社	名古屋市港区	総務課 課内庶務、経理	退職・ <input checked="" type="radio"/> 在職中・在宅 卒業・在学中・中退	H・ <input checked="" type="radio"/> R2年4月から H・R現在年月まで

資格・免許	取得(見込み)年月	趣味・特技	写真を貼る

私は、令和2年度名古屋港管理組合職員採用試験を受験したいので、試験案内の記載事項をすべて了承の上、申し込みます。

令和2年5月8日 氏名(自筆) 名 港 太 郎 令和2年5月撮影

きりとはってはいけません。

写真票

試験の種類	第1回	写真を貼る
試験区分	事務 (行政Ⅱ)	
フリガナ	メイコウタロウ	
氏名	名 港 太 郎	
※		

きりとはってはいけません。

受験票

受験番号	※	フリガナ 氏名	メイコウ タロウ 名 港 太 郎
試験の種類	第1回	試験区分	事務 (行政Ⅱ)
試験会場	名古屋港管理組合本庁舎 名古屋港湾会館 令和2年6月28日(日) 午前8時45分開場 午前9時15分着席		

- 注意事項
- 1 受験の時は、必ず本票を持参の上、午前9時15分までに着席してください。
 - 2 HBの鉛筆、消しゴム、時計(時計機能のみ)を持参してください。

5 試験会場内では、飲食物の外部からの持込みはできません。

8 最終合格から採用まで

- (1) 傷病等により職務に支障があると認められる場合などには、採用されないことがあります。
- (2) 採用は、原則として令和3年4月以降となります。
- (3) 受験資格がないことや受験申込書記載事項に不正があることが判明した場合には、合格を取り消すことがあります。
- (4) 日本国籍を有しない方で、採用日において、法令により永住が認められていない方は採用されません。

9 給 与

初 任 給 約211,000円

- (1) 初任給は、令和2年4月1日現在の給料月額に、地域手当を加えたものです。
- (2) この他、扶養手当、通勤手当、住居手当などの諸手当が支給されます。
- (3) 期末・勤勉手当が年2回（6月・12月）支給されます。
- (4) 初任給は、学校卒業後の経歴に応じて加算される場合があります。

10 日本国籍を有しない方の採用後の配置等

日本国籍を有しない方の採用後の配置、異動、昇任などは、「公権力の行使」又は「公の意思の形成への参画」に携わる公務員となるためには日本国籍が必要であるという「公務員に関する基本原則」を踏まえ、次の(1)及び(2)に該当しない範囲で行われることとなります。

- (1) 公権力の行使に該当する職務
- (2) 公の意思の形成への参画に携わる職（例 ラインの課長級以上の職）

11 個人情報の取扱い

受験に際して提出された書類等は一切返却しません。なお、採用試験において取得した個人情報は、採用試験及び採用に関する事務以外の目的では使用しません。

12 採用試験実施結果

各試験区分の過去の実施結果です。

<第1回>

試験区分		令和元年度			平成30年度			平成29年度		
		受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
事務	行政Ⅰ	(人) 31	(人) 5	(倍) 6.2	(人) 35	(人) 9	(倍) 3.9	(人) 44	(人) 6	(倍) 7.3
	行政Ⅱ	81	4	20.3	/			/		
技 術	土木	15	7	2.1	7	3	2.3	14	5	2.8
	建築	4	2	2.0	/			5	2	2.5
	機械	1	0	—	4	1	4.0	5	2	2.5
	電気	2	0	—	3	1	3.0	2	1	2.0

<海 事>

試験区分	令和元年度			平成30年度			平成29年度		
	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率	受験者数	合格者数	倍率
海事I種 (航海)	(人) 4	(人) 2	(倍) 2.0	(人) 7	(人) 3	(倍) 2.3	(人) 0	(人) -	(倍) -
海事I種 (機関)	0	-	-	0	-	-	0	-	-

13 試験会場案内図

試験会場

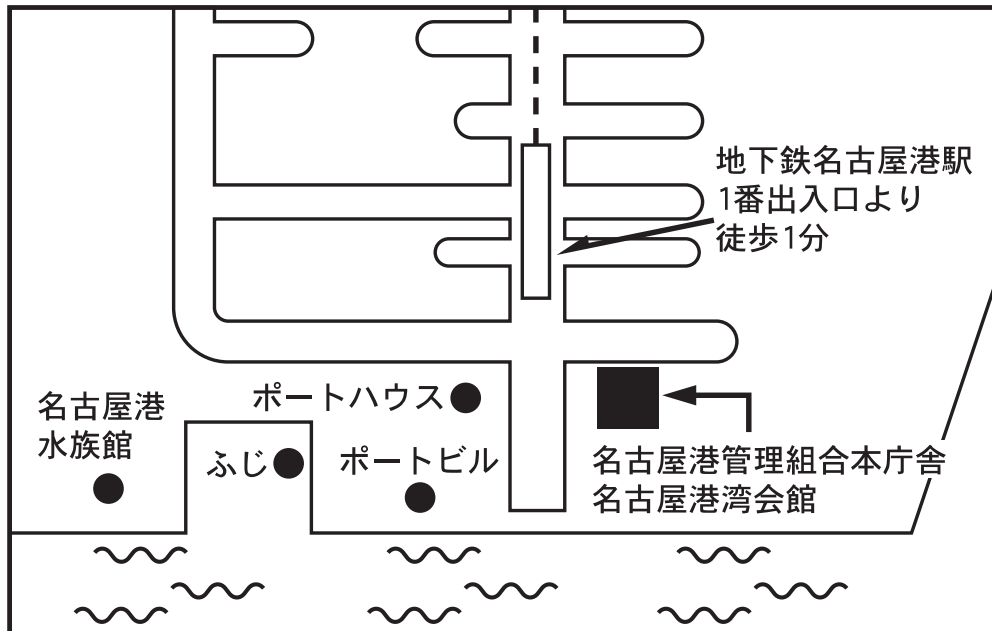
名古屋港管理組合本庁舎

名古屋港湾会館

(名古屋市港区港町1番11号)

[地下鉄名港線]

名古屋港 下車 1番出口



試験会場付近は駐車が困難ですので自家用車での来庁は
ご遠慮ください。

問 い 合 わ せ 先

名古屋港管理組合総務部職員課人事係

〒455-0033

名古屋市港区港町1番11号(本庁舎7階)

TEL (052) 654-7847 (直通)・661-4111 (代表)

FAX (052) 654-7990

名古屋港のホームページ <https://www.port-of-nagoya.jp/>

発行所 名古屋市港区港町1番11号

名古屋港管理組合